



TITLE:

ぴにーる・るろわ・ぼーりゅー氏  
ノ陳亡

AUTHOR(S):

織田, 萬

---

CITATION:

織田, 萬. ぴにーる・るろわ・ぼーりゅー氏ノ陳亡. 經濟論叢 1915, 1(1):  
155-156

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126854>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

# 經濟論叢

號一第

卷一第

## 論說

●貧富問題(一)

●でるゐる・ひゆゝむノ經濟學說(二)

●地代ノ性質ニ就テ

●地方財政ノ調整

## 雜錄

●減債基金ト鐵道資金

●獨逸ノ自治制ニ就テ

●戰爭ト社會問題

●津村博士ノ國民經濟學原論ニ就テ

## 雜報

●租稅ノ新傾向

●佛國ノ外國放資

●佛國植民地ノ現勢

●著名ノ婦人ニ關スル統計的研究

●麥ノ收穫ト米價

●最近人口靜態統計

●日本經濟叢書第十二卷ヲ讀ム

●和田垣教授在職二十五年祝賀

●Robert Meyer 逝ク

●ひねゝるゝるわゝぼゝりゆゝ氏ノ陳亡

法學博士

田島錦治

法學博士

福田德三

法學博士

戸田海市

法學博士

神戶正雄

法學博士

小川郷太郎

教授

財部靜治

講師

米田庄太郎

法學博士

河上肇

法學博士

神戶正雄

法學博士

小川郷太郎

助教授

山本美越乃

法學博士

河上肇

講師

高田保馬

法學士

大山壽

法學士

本庄榮治郎

法學博士

神戶正雄

法學博士

小川郷太郎

法學博士

織田萬

ぴねーる・るろわ・ぼー  
りゅー氏ノ陳亡

法學博士 織 田 萬

歐洲ノ大戰亂ニ際シ交戰各國ニ於ケル學界ノ  
名士カ驟然トシテ起チ筆ヲ捨テ劍ヲ把リテ祖國  
ノ難ニ赴ケル者少カラサルコトハ夙ニ之ヲ聞キ  
シガ近着ノ佛國巴里政治學校發刊政治學雜誌第  
三十三卷第一號ハびねーる・るろわ・ぼーりゅー  
氏ノ戰死ヲ傳ヘタリ氏ハぼーる・るろわ・ぼーり

雜誌

りゅー氏ノ子、あなどゝる・るろわ・ぼーりゅー氏ノ  
甥ニシテ相並ヒテ財政、政治、經濟ニ關スル諸學  
ノ大家タリシハ實ニ學界ノ一偉觀タリキ氏ハ專  
ラ政治地理ノ研究ニ從事シ實地踏査ノ爲メ各地  
ヲ歷遊シ足跡殆ト全世界ニ治シ「にこのみすと・  
ふらんせーず」ノ副長トシテ父ぼーる・るろわ・  
ぼーりゅー氏ノ業ヲ輔佐シ又ねろーる縣選出ノ  
代議士トシテ政界ニ奔走スルノ傍、千九百十一  
年齡僅ニ三十歳ニシテるがあすゝる氏ノ後ヲ承  
ケ政治學校教授トシテ商業地理ノ講座ヲ擔任シ  
名聲籍甚タリシガ偶戰亂ノ起レルニ逢ヒ其豫備  
砲兵士官タリシヲ以テ召集セラレテ戰陣ニ從ヒ  
本年一月十三日某地ニ於テ奮闘シ頭ニ重傷ヲ被  
リ敵軍ノ野戰病院ニ收容セラレタレトモ幾ハク  
モナクシテ遂ニ其命ヲ殞セリト云フ獨逸第三軍  
第三野戰病院軍醫長ガびねーる・るろわ・ぼーり  
ゅー氏ノ未亡人ニ贈レル書掲ケテ雜誌ニ在リ書  
中「英雄ノ勇氣ヲ以テ闘ヒツツ劍ツケリ」ト云ヒ  
又「砲手皆斃レタル後ハ彼ハ自ラ其砲ヲ操縦シ  
射撃ヲ止メス其射撃ヲ止メサルヲ得サルニ至テ

ハ拳銃ヲ以テ飽マテ防戦セシガ偶一彈飛來シテ  
右顚顚ヲ貫キ眼ニ達シ之カ爲メニ昏倒セリ』ト  
云ヘルヲ以テ見レハ其奮闘ノ狀想フヘキナリ  
嗚呼男子身ヲ以テ難ニ殉スルハ榮ハ則チ榮ナリ  
ト雖モ少壯有爲ノ學者カ未タ其蘊蓄スル所ヲ發  
擢スルニ及ハスシテ空シク之ヲ九泉ノ下ニ齎シ  
去レルコト學界ノ爲メニ豈痛惜ニ堪フヘケンヤ  
政治學雜誌ハびにゐる。るわ・ぼーりゆー氏ノ  
外ニ政治學校行政法演習主任 ふにるなん・こら  
ぐに氏ノ戰死ヲ報シ尙ホ同時ニ政治學校卒業生  
及生徒ノ死傷者數十人ノ氏名ヲ掲ケテ吊意ヲ表  
セリ多クハ相當ノ地位及職業ヲ有スルノ上ナリ  
亦以テ戰亂ノ慘禍大ナルコトヲ察スルニ足ル。